

ソニーシティ

設計：プランテック総合計画事務所

BE



北西面外観

Best Equipment

人のための環境デザイン

松本秀樹
HIDEKI MATSUMOTO

JR品川駅東口の新たなランドマークとして2006年10月に竣工した「ソニーシティ」は、ソニー生命保険とソニーが共同で進めてきたプロジェクトであり、ソニーを中心としたグループ社員約6,000名規模が入居しています。

都心に数十ヵ所分散していたソニーグループのオフィスを集約し、ワーカー同士のコミュニケーションの活性化と、移動時間のムダをなくすことによる業務時間（コアタイム）の有効活用を重要なファクターとする一方、マルチテナントビルとしても対応可能なオフィスビルとすることで、長期にわたり永続性、持続性が保たれる空間と環境に配慮した設計を行いました。

□コアタイム創出と多様なコミュニケーションを可能にする広いプレート

コアタイム創出に最も重要なことは、移動時間の短縮化です。私たちは、この敷地において、縦に高い超高層化にして縦移動に時間がかかる計画ではなく、極力、横の関係のみで情報のやりとりが出来るよう、可能な限り広いオフィスフロアを計画しました。

このために従来型のセンターコアのフロア構成ではなく、壁面にコアを寄せたサイドコア形式として、ビル中央に見通しの良い、極力、正形でポストレスな空間（約50×100m）をつくることで、情報の視覚化、コミュニケーションの活性化、そして柔軟なオフィスレイアウトを可能とする平面計画を行ないました。

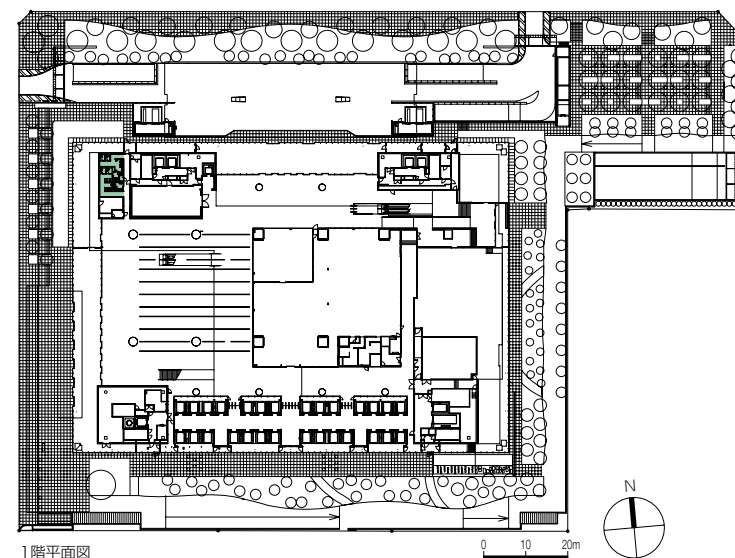
□広いプレートを可能としたブレース構造と免震構造

広いプレートを計画するにあたり、極力、構造体をなくしたフレキシブルなオフィスレイアウトを可能にするため、また、これらを安全・安心に達成するために、私たちは免震構造と外周に張り巡らせたブレース構造を併用することで、相反する問題を解決しました。これにより従来のラーメン工法に比べ、約20%鋼材量を減らすことも達成し、コストと環境への配慮を同時に行っています。

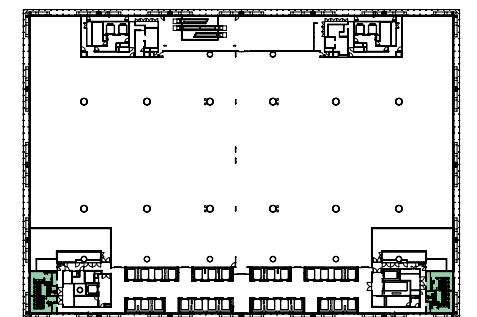
ブレース構造に水平力と若干の鉛直力を持たせることで、内部の鉛直柱を極力細く大スパン（最大で25.5×15m）とすることが可能となり、オフィスレイアウトのフレキシブル性を向上させています。



エントランスホール



1階平面図



低層基準階平面図



サイン

□環境デバイスとしてのダブルスキンファサード

広く深いオフィスフロアを快適な環境とするためには、光環境が重要な意味を持ちます。

ただし、パソコン環境が主流の時代では、直射日光は業務の弊害となるため、柔らかな光とする必要があります。サイドコア（EVシャフトなど）は、極力、透明としながら、直射日光の入力に対するバッファとして、その悪影響から解放させています。

光環境が良くなると、同時に熱環境の問題が発生します。これについては全面をダブルスキンとすることで、4面から明るい光を採り入れながら、フロア内の温熱環境の負荷を低減することが可能となりました。

また、キャビティ（ダブルスキン内スペース）内にはブレース構造を入れ込み、インナーマリオンをキャビティ側とすることで、床面、際まで鉛直材に制限されることなく使える計画としています。

免震構造による層間変位縮小効果（従来の1/150から1/500へ低減）で、マリオンサイズも従来の約60%程度の見付が可能となり、開放感に付与しています。

このように幾つものシミュレーションや検討により、意匠、構造、設備、法規をシームレスに統合したファサードの構築に成功することができました。

これらフロア、構造、ファサード、すべてを“人”に還元されるものとなるように平面計画、断面計画を行うことで、人のための環境デザインを高次に達成することが可能となったのです。

□普遍的ですべての人のためのユニバーサルデザイン

建築計画において、トイレの計画は最も重要といえます。広大なビル内において、最もヒューマンスケールなスペース

であり、この部分に神経が行き届いた建築は、すべてが良いと言っても過言ではありません。

小さく絞ったコア計画の中で決して広くはないトイレについては、極力、快適な空間となるように配慮しています。ダブルスキンで得られた開放的なファサードによって、トイレにも明るい光を採り込んだ計画として広さをサポートしました。ソニーグループの意向から、各フロアにユニバーサルトイレを設置、動線は男女が極力出会わずトイレまで行ける計画として、誰にでも使いやすいトイレを目指しました。

デザイン上はヒューマンスケールにのっとったモジュールラインにシンプルな納まり形状のハンギングシステムを採用して、大便器、小便器、洗面、パウダーコーナー、コート掛けなどが統一感のあるデザインとなるようにして、シンプルで清潔感のある空間としています。併せて、PCなどを置く場所には、ぬれない工夫を施すことで、快適な業務へのサポートができるようなトイレの計画が達成できました。*

まつもと・ひできープランテック総合計画事務所 執行役員
チーフアーキテクト/1970年生まれ。1995年、早稲田大学
専門学校建築設計科卒業。1996年、池原義郎・建築設計事務所
入社。2003年、プランテック総合計画事務所入社、現在に至る。
主な作品：ガレリア亀岡（1994）、サンシップ富山（1997）、
青い森アリーナ（1999）など。（すべて池原義郎・建築設計事務所での担当）

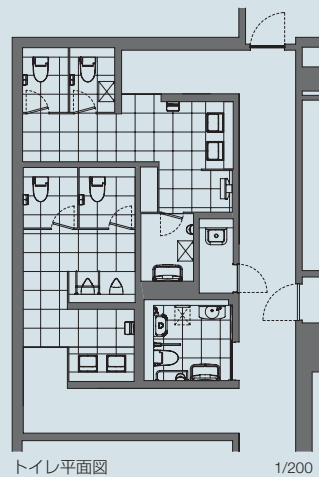
■建築概要

名称：ソニーシティ
所在地：東京都港区港南1-7-1
設計：プランテック総合計画事務所
施工：清水建設
敷地面積：18,165.30㎡
建築面積：8,995.45㎡
延床面積：162,887.57㎡
規模：地下2階、地上20階、塔屋2階
構造：S造、SRC造
工期：2004.8～2006.10

1階トイレ



男子トイレ ●INAX使用商品●センサー大便器：BC-950P-AY、DV-155F-RB-TU2、紙巻器：CF-A63



トイレ平面図 1/200

基準階トイレ



女子トイレ ●INAX使用商品●サティス洗面器：L-533-TK1（120）、サーモスタッド付自動水栓：AM-90KトクAM-93、水石けん供給栓：KF-114BL-Z1

女子トイレ

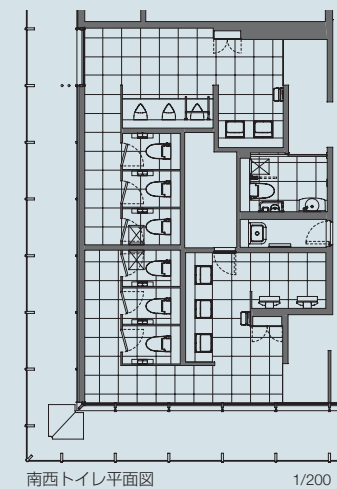
女子トイレ



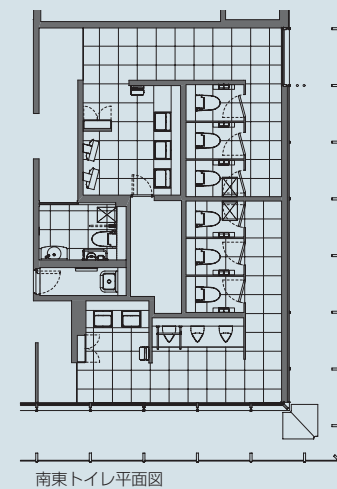
男子トイレ ●INAX使用商品●小便器：AWU-506RAM-TU2



ユニバーサルトイレ ●INAX使用商品●センサー大便器：BC-950P-AY、DV-155F-RB-TU2、紙巻器：CF-A23D、手洗器：AWL-71AP（P）、洗面器：L-275FCR、自動水栓：AM-91（100V）



南西トイレ平面図 1/200



南東トイレ平面図